

“いのちのつながり”に貢献する医療、研究のために



DIVERSITY + INCLUSION

ダイバーシティ&インクルージョン



キャリアデザイン、共同研究

女性・若手研究者の可能性を広げたキャリアデザインプロジェクト

女性・若手研究者キャリアデザインプロジェクトは、連携機関<日医大、日獣大、アンファー(株)>に所属する女性・若手研究者が集まり、キャリアデザインや共同研究などを通じて今後のキャリアを考える機会を提供してきました。2020年に始まった本プロジェクトには、5回の開催で延べ約140人が参加しました。本プロジェクトチーフの神田奈緒子・日医大教授と、副チーフの山本昌美・日獣大准教授に本プロジェクトの意義についてお話をうかがいました。

どのような意図で本プロジェクトは始まったのですか？

神田 若い女性研究者がこれからキャリアを積んでいくにあたっての課題にどのようにアプローチするか、異分野の若い先生方が集まって何かやるのが重要だと思いました。第1回は研究成果の効果的な発表方法や、留学のキャリアアップへの繋げ方、研究費の取り方などをそれぞれグループに分かれて研究していました。留学で来ている人や経験者にアンケートを取るなど、色々なアイデアが出て面白かったです。

山本 私は第1回に受講生として参加し、第2回から企画側に入りました。参加していなかったら知り合えなかった人と知り合えましたし、一つの法人でありながら接点が少なかった中で繋がりができました。日医大は基礎系の人も多く、自分の研究テーマを掘り下げていく上でも新たな気づきがありました。

回を重ねる中で、

変えていったことや工夫したことはありましたか。

神田 第3回までは終了後にレポートも提出してもらっていたのですが、少し調べれば分かるような内容をレポートにまとめなければならないことへの負担感を訴える声が聞かれるようになりました。そこで、参加メンバー各自のスキルを持ち寄って共同研究のテーマを考えてみるのはどうかということになり、第4回と第5回は仮想研究テーマによる共同研究のプランニングを行うワークショップにしました。

山本 参加する各先生の専門分野に基づき、年齢構成や興味関心、男女比、職位にできるだけ配慮してグループを決めていきました。第3回まではお互いの研究内容について話す機会がありませんでしたが、第4、5回では自分が皆さんに提供できる技術は何か考えたり、自分の研究の良いところを説明したりする機会が生まれたことは、自分のキャリアを考える意味でも役に立ったと思います。

5回の開催を経て、

改めて本プロジェクトの意義をお聞かせ下さい。

神田 異分野の先生と話し、他の先生の話も聞ける。プログラムの中身は試行錯誤でしたが、これから先のキャリア形成に向けて、今正しい答えを出さなくても、考えていく機会を持つことが大切だと思って続けてきました。参加すると研究支援員や共同研究に申請しやすくなることで、ある程度参加者も増えて良かったと思います。

山本 日獣大では、本プロジェクトに参加した日医大の先生と直接連絡を取り合って科研費の獲得に結びつけた例がありました。また、第4回で出た共同研究テーマがそのまま実際の共同研究につながっている方もいます。毎回終了時にもアンケートを実施しています。さらに数年後に再度アンケートを取ることができれば、その後の発展なども分かるかと思います。ぜひ私たちも知りたいですね。



日本獣医生命科学大学
獣医学部獣医保健看護学科 准教授
山本 昌美



日本医科大学 千葉北総病院
皮膚科 部長/教授
神田 奈緒子

牽引型

第5回女性・若手研究者 キャリアデザインプロジェクト 共同研究ワークショップを 開催しました

2024
11/15
金

2024年11月15日、本プロジェクトの第5回ワークショップを日医大で開催しました。当日は本プロジェクトの連携機関に加えて、東京理科大学、早稲田大学の研究者を含む20名が参加しました。

はじめに、日医大の弦間昭彦学長は「環境整備を進めてきたことで、女性・若手研究者の層が厚くなっている。さらに一歩進める形で教育・研究・診療を後押しできる環境を整えば、将来の日医大を支える人材を輩出できるだろう。今回のワークショップはその基盤となる」などと挨拶。また、日獣大の鈴木浩悦学長は「本学は女子学生が多い一方で、教員役職者は男性がほとんど。女性教授を増やしていくことが、大学にとってプラスになる。異分野の先生と話す機会から新しい共同研究のヒントを見つけ、良い出会いにつなげてほしい」などと挨拶しました。

その後は、5つのテーマ(右)に分かれて約1時間グループディスカッションを行いました。成果発表では、杉谷巖・日医大内分科学分野大学院教授から各グループに対して講評。同教授は「夢のある研究テーマをプレゼンいただき、感銘を受けた。このまま終わるのはもったいない」などと述べ、今後も何らかの形で継続できることに期待感を示しました。



杉谷 巖先生



共同研究のテーマ一覧

グループ1

生体内で過剰に蓄積したコラーゲンを分解する治療薬の開発

グループ2

肺高血圧症の臨床病理学的特徴と治療ターゲット因子の探索

グループ3

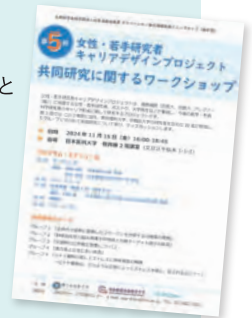
災害時の公衆衛生管理について

グループ4

漢方薬と女性に多い疾患

グループ5

ヒトと動物の癒しとストレスの神経基盤の解明
～ヒトや動物は、どのような五感によって
ストレスを感じ、癒されるのか?～



女性・若手研究者 キャリアデザインプロジェクト 開催報告

5回の開催で延べ参加者137名(男性44、女性93)、2回以上参加するリピーターは17名。普段は接することのない人との交流に価値を感じている参加者が多い。研究者のキャリア形成や、研究者間の交流の促進に加え、大学でのクラウドファンディングの実施、研究環境の改善、実際の共同研究に発展するなどの効果がみられる。

第1回
2020年
日本医科学大会場と
オンライン開催

34名
参加

研究テーマ

- 研究費獲得方法
- 産学連携共同研究の展開方法
- 効果的な研究成果発表
- 効率の良い留学

講演

女性のキャリア形成～多様性尊重の時代へ～
小宮根 真弓先生(自治医科大学)

第2回
2021年
日本獣医生命科学大会場と
オンライン開催

37名
参加

研究テーマ

- URA の育成・定着・充実化
- 育児と両立した研究生活
- ライフプランと留学
- 高い評価の得られる研究テーマの考案

第3回
2022年
初の完全オンサイト発表会

24名
参加

研究テーマ

- トランスレーショナルリサーチの進め方
- 研究と臨床の両立
- 研究の効率化と生産性の向上
- コロナ禍のキャリアアップの進め方

第4回
2023年
共同研究に関するワークショップ開催
(東京理科大学、早稲田大学の研究者も参加対象)

22名
参加

内容

仮想の共同研究テーマをグループごとに設定し
共同研究を立案する

講演

医学におけるライフワークを追い求めて
細谷 紀子先生(東京大学)

活動報告

福泉 彩先生の発表資料

牽引型

研究成果発表会を開催しました

日医大

2024年10月21日、2022-23年度に実施された共同研究*1および研究支援員配置制度*2を活用した日医大の女性研究者による研究成果発表会がオンラインで開催されました。福泉講師ら発表者7名を含む22名が参加し、1年間の研究成果を報告しました。

支援制度を活用して深化させた研究成果は、医学、再生医療、栄養学、神経疾患など、幅広い分野にわたり、進捗や新たな発見、今後の展望に関する内容が報告されました。質疑応答では、参加者からの質問を受けて、発表者は新たな知見や今後の課題を明確にしました。

この支援制度は、研究者が自由にかつ効果的に研究を進めるための重要な支援となっています。また、参加者にとっては、研究者たちがどのように支援を活用し、研究を進めているのかを知る貴重な機会となりました。

※1 連携機関(日医大・日獣大・アンファー(株))における共同研究で、特に有用と認め、女性が研究代表者となるプロジェクトに対し、共同研究費として年間100万円を補助する制度

※2 育児や介護などライフイベントにある研究者に週20時間までの研究支援員を配置する制度



発表者
7名

参加者
22名



日本医科大学付属病院
呼吸器内科
講師 福泉 彩

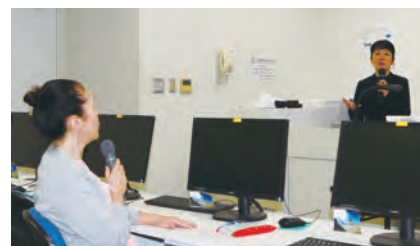
牽引型 | 女性リーダー育成型

ダイバーシティ研究助成 研究発表会を開催しました

日獣大

2024年11月11日、日本獣医生命科学大学で「2023年度ダイバーシティ研究助成採択者による研究発表会」を行いました。鈴木浩悦学長と小竹佐知子ダイバーシティ推進委員長による開会と事業紹介のあと、動物科学科の前田友香助教がエコフィードのひとつであるビール粕を用いた黒毛和種牛の飼料消化性に関する研究を発表されたのを皮切りに、採択者13名のうち、10名による研究発表がおこなわれました。食品科学科の教員からは、鶏肉や緑黄色野菜、緑茶に含まれる食品有効成分が、生理機能に与える影響に関する研究や食の基本となる咀嚼に関する研究について発表いただきました。獣医保健看護学科の教員からは病理学的視点からの野生動物保護に関わる研究が、獣医学科の教員からは動物の腫瘍や炎症の治療につながる病態メカニズムの解明に関する研究や動物愛護を科学的に証明する発表が行われました。すべてバックグラウンドの異なる教員の発表ということで、図らずも異分野交流の場となり、大変有意義な発表会となりましたことを関係各位に深くお礼を申し上げます。

(ダイバーシティ推進委員 獣医学部 獣医学科 木邊 量子)



質疑応答をする小竹ダイバーシティ推進委員長と
特任教授 田中 亜紀(上)、
獣医学部 獣医学科 ポストドクター 田中 祥代(下)

女性リーダー育成型

書籍のご案内「動物福祉 アニマルウェルフェア 世界の歩みと日本の取組み」

日獣大

【著者】植木 美希、田中 亜紀、町屋 奈 【出版社】工作舎

ペット、畜産動物、実験動物などに共通する動物福祉(アニマルウェルフェア)の原則「5つの自由」をご存知ですか。本書では、「5つの自由」をはじめとする動物福祉の考え方、歴史と実際を、日本獣医生命科学大学の3名の研究者が紹介しています。動物福祉をめぐる現状と問題を、日本と世界の国々の豊富な事例によってわかりやすく学べる一冊です。



著者のコメント



「動物福祉」とは、「動物がいかに生きているか」ということを科学的に探究する研究分野です。「ただ生きていれば良い」わけではなく、動物が何をどうやって食べているか、どんな環境で生活しているか、動物の本来の生理習性が発揮できるか等を客観的に評価しながら、動物がより良い状態で生きることを目指します。この本は、「動物福祉」について産業動物や伴侶動物等いろいろな観点から解説した書籍です。動物福祉は、動物のためだけではなく、人の生活や健康にもつながる新しい分野として発展しています。

日本獣医生命科学大学 獣医学部 獣医学科 野生動物学 特任教授 田中 亜紀

牽引型

ダイバーシティ事業では図書の出借を行っています

キャリア形成、研究、留学、ライフイベントなど100冊以上を揃えています。ぜひご利用ください。

詳しくはこちら



ペットと家禽の間で ～ペットがいるワークライフバランス～

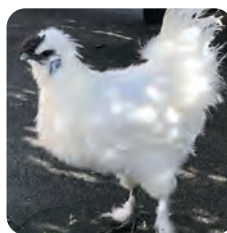
日本獣医生命科学大学
応用生命科学部 食品科学科 食品機能化学教室
准教授 江草(雑賀) 愛

我が家では、庭先で烏骨鶏を飼育しています。このコラムのお題が「ペットとワークライフバランス」のため、執筆のご依頼をいただいた際には、大変悩みました。小宅の烏骨鶏は、ペットなのか、食糧なのか…。

烏骨鶏を飼い始めたのは、娘がまだ小学校5年生の時でした。夏休みの自由研究の一環として有精卵を入手し、孵卵から成長までを一緒に見守りました。温めて21日目に孵化したヒヨコを見た時の娘の目の輝きは、今でも忘れられません。DIYで鶏小屋を作ったり、成長記録を付けたり、鶏の排せつ物を利用して野菜を作ったりと、家族総出の楽しい夏の思い出になりました。半年ほど経て、雌の烏骨鶏が卵を産んだ時、母は「やった！食糧確保」と満面の笑みがこぼれたのに対し、娘は「本当に食べるの？」と目を潤ませてしまいました。

生産の現場と食卓が離れている現在、畜産物がどのように作られているのか、知らない人や知りたくないと思っている人が多いように感じます。娘の涙は、卵が「命の源」と気付いたためなのでしょう。

鶏を「ペット」と認識している父娘と、「家禽」と位置付ける母がおりますが、6年経った今も家族の絆を繋ぐ存在であることには間違いなさそうです。



看板鶏の姉ちゃん

耳朶の青色が
美しい雄です



動画配信はこちら

活動報告

…動画配信あり



女性リーダー育成型

2024年7月31日

セミナー「ツールを活用して効率的・効果的に研究力を高めよう！」

10月15日

リサーチカフェ 第2回

～基礎と臨床の垣根を越えて～ 臨床と基礎のマッチング開催(日医大)

2025年1月14日

セミナー「生成AIを用いた研究サポート Chat GPTの活用と課題」

【活動予定】

2025年3月15日

リーダー育成プログラム「ファシリテーション研修」開催(日医大)

牽引型

2024年9月17日、24日、10月1日

セミナー「国際会議での英語プレゼンテーション～準備と実践～」

10月5日

三鷹ネットワーク大学 日獣大企画講座 第1回

10月21日

2023年度共同研究・研究支援員配置採択者による研究成果発表会 開催(日医大)

11月11日

2023年度ダイバーシティ研究助成研究成果発表会 開催(日獣大)

11月15日

第5回女性・若手研究者キャリアデザインプロジェクト開催

11月25日、12月5日、11日、19日、25日

研究留学のすすめ「留学のリアル」インタビュー配信(全5回)

12月4日

セミナー「哺乳類親子関係の脳科学：親の養育と子の愛着」

12月7日

三鷹ネットワーク大学 日獣大企画講座 第2回

【活動予定】

2025年1月8日、16日、22日、31日

セミナー「知るから始まるはじめての一步 性の多様性 SOGIの基礎知識」(全4回)

1月30日

セミナー「仕事で活躍するためのパフォーマンスUPセミナー」

2月1日

三鷹ネットワーク大学 日獣大企画講座 単講座

支援制度のご案内



本事業では皆様の研究活動を支えるさまざまな制度をご用意しています。詳細はウェブサイトをご覧ください。ご利用をお待ちしています。

女性リーダー育成型

- 2024年度 国際学会発表助成制度
- 2024年度 論文投稿費用助成制度(日獣大)
- 女性を対象とした研究助成金・賞等の情報提供

牽引型

- 2024年度 病児・病後児等保育支援制度
- 2024年度 英文校閲費用助成制度
- 2024年度 英語プレゼンテーション講座(日獣大)
- 産学横断型キャリア相談窓口/One Healthメンター制度
- 留学アドバイザー制度

文部科学省科学技術人材育成費補助事業

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)(女性リーダー育成型)

【代表機関】日本医科大学 【共同実施機関】日本獣医生命科学大学 アンファー株式会社

【編集・発行】学校法人日本医科大学 しあわせキャリア支援センター 〒113-8602 東京都文京区千駄木1-1-5 TEL 03-3822-2131

one-health.jp

詳細、お申し込みなどは
One Healthのウェブサイト
をご覧ください

